

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



行く春を惜しむ間もなく、ここ数日はまるで夏を感じさせるような陽気です。

薫風さわやかに、木々の緑が目眩しい季節になりましたね。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、お花見をはじめ様々なイベントの延期や中止に続き、ゴールデンウィーク中の帰郷やお出掛けもままならず・・・。

楽しみにしていたのにとっても残念でした。

ゴールデンウィーク後も、学校や会社にも行け

ない状況が続いていますが、この時期、皆さん如何お過ごしでしょうか？

目に見えない敵との戦いはエネルギーを消耗し、心身共に辛く苦しい状況を強いられますが、体調を崩さないようご自愛ください。

今しばらく自粛が続きそうですが、大切な生命を守る為にもう少しの我慢と信じて頑張りましょう！



失敗事例から学ぶ家づくり成功の秘けつ！（18）

新たなテーマとして、家づくりの際に注意すべき大切なポイントを書かせていただいています。ご参考になれば幸いです。

【玄関先からトイレの便座がまる見え・・・】

家を新築するにあたり間取りを考えた時、一番納まりが良いということで、玄関のすぐそばにトイレを配置することにしました。

ちょっとした用事で訪れた来客が、もしもの時に、トイレを容易に利用させてもらえるということでは良いのですが、時として困った事態が・・・。

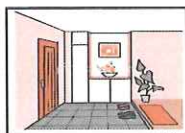
トイレの扉を開けると、玄関から便座がまる見えになってしまうのです。

いろいろ考えて決めたはずなのに、

これってやはり気になりますよね。

またこれと同様に、台所からトイレが見えるといったケースもあります。

衛生面からみると不適切かもしれません。



これらは、大事な間取りを決める時に配慮が足りなかった結果、よく生じる失敗です。

けれど、廊下やホールを加えたり、ドアの位置を工夫したりすることで、こういった失敗を防ぐことができます。



良かれと思ったことでも、実際に住んでみなければ判らないことはたくさんあります。

図面だけでは判りにくいため、最近では、間取り作成ソフトを利用して考えてみるという方法があります。これは、イメージしやすいという利点がありますので、上手に使うことで失敗を少なく抑えることができると思います。

その際は、実際の生活をしっかり考慮しましょう。

次回に続く

「養蚕の豆知識」

美しい光沢の絹織物は今も昔も人々を魅了します。絹は、蚕（カイコガの幼虫）が作る繭からとった生糸から作られ、蚕を育てて繭を採ることを「養蚕」といいます。

中国から日本へ養蚕が伝わったのは紀元前200年頃。シルクロードが、東西の貿易と文化の交流に大きな役割を果たしていた頃です。日本でも古くから養蚕に取り組み、蚕を育てて繭から絹糸をとり、機を織るところまではそれぞれの家で行われ、女性の仕事として発展してきた歴史があります。農家にとっては重要な収入源であり、「お蚕様」と呼ばれて大切に扱われ、蚕が無事に育ち繭がたくさん採れることを願って、さまざまな民間信仰や風習が生まれました。

近代日本で一大産業として全国で行われていた養蚕。国営の製糸工場だった群馬県の富岡製糸場が世界文化遺産に登録されたのも記憶に新しいところです。



自然のリズムを大切に！



私達は、普段からあまり深く考えることなく、水栓をひねるだけで蛇口から出てくる水を、当たり前のように使っていますが、断水でいざ水が使えなくなると大変。大慌てしますよね。

そんな時になって初めて、水が出ることの有り難さを感じるような気がします。



「水」それは、人が生活する上で絶対欠かせない非常に重要なものです。

地球には、水があるから作物がとれ、食べることができ、樹木や草花が育ち、家屋が建ち、手洗いや入浴ができ、等等・・・現在の豊かな暮らしが成り立っているのですよね。

しかし、時には、雨が激しく大地に降り注ぎ、地形を変えてしまったり、河川では荒波が人を飲み込んでしまうほど狂暴なものへと変貌することもあります。

どちらも自然の現象で、繰り返しながら進化していくのではないのでしょうか？

人間の便利だけを推し進めた結果、自然の力を無視した環境汚染が広がったりしたために、自然のサイクルリズムが壊れ、今のような異常現象が続いたり、水の被害に悩まされるような気がします。日々の生活における利便性を追求し続けるのも、大事だけれど、これからは、もっともっと自然のリズムに耳を傾け、大切にしていかななくてはいけないと思います。

また、自然災害を予め察知するシステム（例えば、地震発生予測システム等）は、大切な人命を守るためには必要なことかもしれませんが、災害を受けた人達が、被災地にはもう住めなくなり、別の場所で生活するために山を切り開いたりするのは、自然を破壊することになってしまいます。

ましてや、自然災害を起こさない機械等を発明することは、完全に自然のリズムを崩してしまうことにつながらないでしょうか？

難しいことは判らないけれど、人類誕生の以前から地球上にある「水」。

きれいに、そして感謝しつつ大切に使い続ければ、自然災害・水害に悩まされることも少なくなるのではないかと私は思います。

大切な資源、大事に使いたいものですね。

今年も、そろそろ梅雨の時季を迎えますが、今年の降水量はどうなるのでしょうか？

多過ぎても少な過ぎても心配ですが、これも自然のリズムにお任せしましょう。

何事も程々に
お願いいたします。



「編集後記」

このところ連日、新型コロナウイルス感染拡大防止に関するニュースが後を絶ちません。

そんな中、今までこんなに長い期間 stay home の経験が無かった為、時々日にちや時間の感覚さえ判らなくなってしまうことがあり心配になります。

皆さんは、こんなことはありませんか？

梅雨に入る前のこの時期は、緑も色鮮やかになり、暑からず寒からず、1年を通じ何をすることも最適な頃ですね。

こんな時の外出禁止はとても残念ですが、コロナウィルスとの戦いはまだ気が抜けない状況です。

医療の現場などで、昼夜を問わず頑張ってくださいている方々に感謝を忘れず、1日も早く終息宣言が出されることを願いましょう。

体調管理を怠らず、どうぞお元気で過ごしてください！

今月号もお読みいただき有難うございます。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。
ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者 渡辺 田鶴子